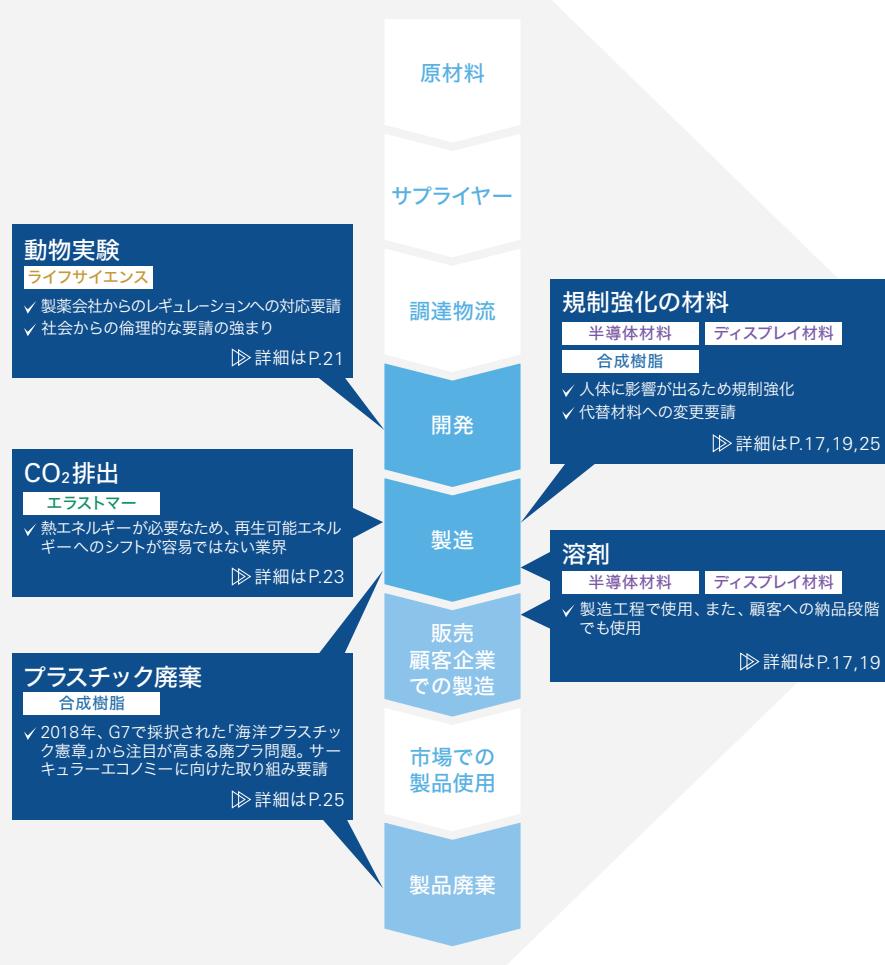


# JSRサステナビリティ・チャレンジ

JSRグループは原材料から顧客企業での製造、市場での使用、そして製品が破棄されるまでを通して社会へ様々な形でインパクトを与えています。今回のサステナビリティ・チャレンジでは、上流の研究・開発から下流の製品の破棄に至る各段階について気候変動、資源循環、デジタル変革、健康などの観点から精査を行いました。精査の結果として、「事業活動」に関して把握されたポジティブ・ネガティブインパクトを下

図のとおりまとめています。今後、この結果と未来を統合した思考の下に、2050年に向けた長期ビジョンへの制定を進めています。「生活の質・幸福への貢献」「健康長寿社会への貢献」「地球環境保全への貢献」という3つのアウトカムとして提供していくことで、将来にわたる持続的な成長につなげステークホルダーへの責任を果たしていきます。

## ネガティブインパクト



## ポジティブインパクト

デジタルソリューション ▷ 詳細はP.17, 19



### 半導体材料

ナノ技術を高めIoT、AI、5Gのスマート社会に貢献しながら、半導体の消費電力を抑制  
JSRの最先端半導体材料は小型化・高性能化をより少ない電力で達成可能  
より高性能なGPUの採用で**280倍の消費電力削減効果を期待できる**

### ディスプレイ材料

ディスプレイの輝度UPと低温焼成を実現し液晶TVの消費電力を30%削減が可能  
高性能ディスプレイ用配向膜**世界シェアNo.1**を誇るJSRでは世界のディスプレイに対するエネルギー削減効果も期待できる

ライフサイエンス ▷ 詳細はP.21



顧客企業の医薬品開発成功率向上と開発期間の短縮へ  
開発・製造受託(CDMO)で、安定的に量産できるような製造技術の確立から、人での治験認可まで、通常**12~24ヶ月かかるところを9ヶ月に短縮**

エラストマー ▷ 詳細はP.23



JSRグループが製造工程で排出する温室効果ガスに対して、製品を通して2倍以上の社会の温室効果ガス削減に貢献  
JSR独自の低燃費タイヤ用SSBRを通じた自動車からのCO<sub>2</sub>削減量は、製造工程で排出されるCO<sub>2</sub>の**2.7倍**になることが期待される

合成樹脂 ▷ 詳細はP.25



プラスチック資源循環に向けて、モノマテリアル化の推進  
新素材を採用し、これまでの複合素材をモノマテリアル化することで顧客企業に貢献  
高発色材による無塗装化により、易りサイクル性と溶剤削減による環境負荷低減を達成  
また軽量化においても剛性を維持したまま**50%**の軽量化を提案

ポジティブインパクトによって  
JSRが生み出す社会価値

- ◆ スマート(AI, IoT)社会の実現
- ◆ 高速通信の実現
- ◆ 4K・8Kテレビの普及
- ◆ 快適なモビリティの実現

- ◆ 創薬期間の短縮
- ◆ 治療から予防へ
- ◆ 個別化医療の推進

- ◆ エネルギーの効率的な活用
- ◆ 循環型社会の実現